

## トマト（夏秋被覆栽培）の病害虫の発生状況（9月中旬）

### 1 灰色かび病

巡回調査における発生ほ場割合は平年並でした（図1）。発生程度の高いほ場が多くみられ、果実での発生も確認されています。今後、気温の低下に伴い施設を閉めきることが多くなり、湿度が上昇しやすくなるので、換気を行うとともに、発病葉は摘除し、ほ場外で処分してください。

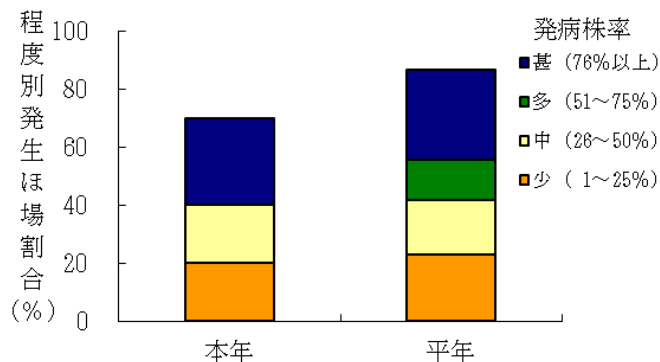


図1 灰色かび病の発生状況

### 2 葉かび病

巡回調査における発生ほ場割合は平年並でした（図2）。多湿条件により発生しやすくなるので、換気を十分に行ってください。抵抗性品種を作付けしているほ場でも発病がみられた場合には、葉かび病かすすかび病かを確認し、適切な薬剤を選択して防除してください

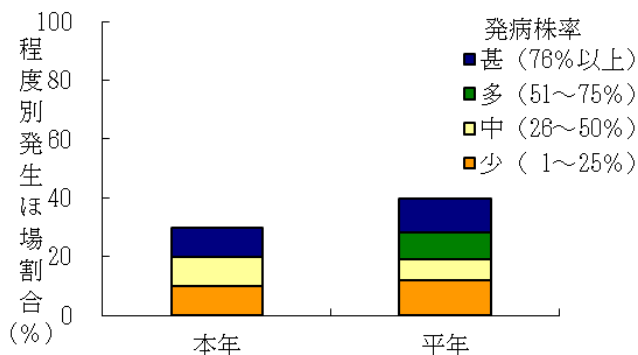


図2 葉かび病の発生状況

### 3 すすかび病

巡回調査における発生ほ場割合は、例年より低い状況でした（図3）。多湿条件により発生しやすくなるので、換気を行ってください。発生が確認された場合には、適切な薬剤を選択して防除してください。

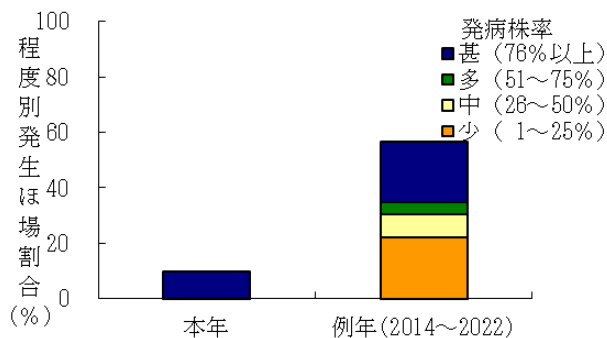


図3 すすかび病の発生状況

## 4 アブラムシ類

巡回調査における発生ほ場割合は平年並でした（図4）。ほ場をよく観察し、発生が多くなった場合には、速やかに防除を実施してください。

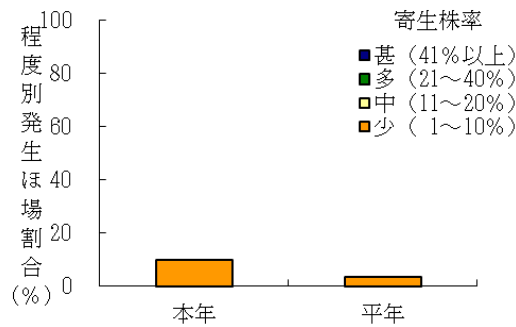


図4 アブラムシ類の発生状況

## 5 コナジラミ類

巡回調査における発生ほ場割合は平年並でした（図5）。県内における主な寄生種は、オンシツコナジラミですが、寄生種がタバココナジラミの場合は、着色異常果の発生やトマト黄化葉巻病（TYLCV）を媒介するので、注意してください（病害虫防除所 HP に掲載している病害虫防除情報「注意喚起 黄化葉巻病（TYLCV）のまん延防止対策」、病害虫ライブラリー野菜花き類「コナジラミ類」をご覧ください）。

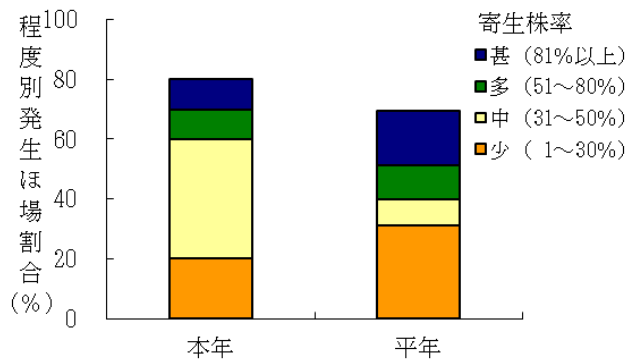


図5 コナジラミ類の発生状況

## 6 ハモグリバエ類

巡回調査における発生ほ場割合は平年並でした（図6）。まん延すると防除が困難となるので、発生が見られる場合には防除を実施してください。

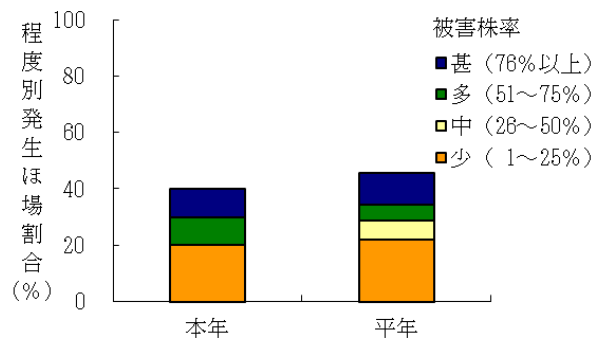


図6 ハモグリバエ類の発生状況

## 7 アザミウマ類

巡回調査における発生ほ場割合は平年より低い状況でした（図7）。防虫ネットの設置が定着していますが、ほ場をよく観察し、発生が多い場合は、速やかに防除を実施してください。

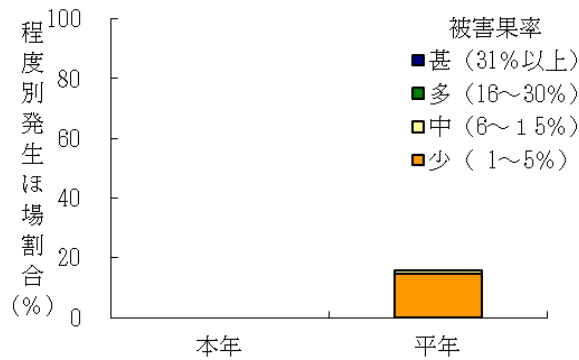


図7 アザミウマ類による被害果実の発生状況

## 8 オオタバコガ

巡回調査における発生ほ場割合は平年より高い状況でした（図8）。発生程度の高いほ場がみられ、果実への食害が確認されています。フェロモントラップ調査では、9月上中旬に各地で誘殺数が多くなっています。発生が確認された場合には防除を実施してください（図9、10、11）。

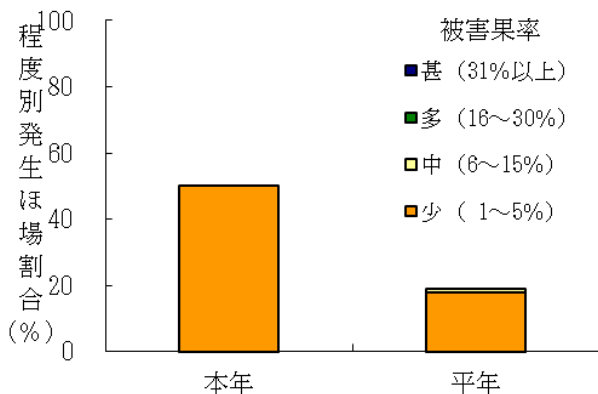


図8 オオタバコガによる被害果実の発生状況

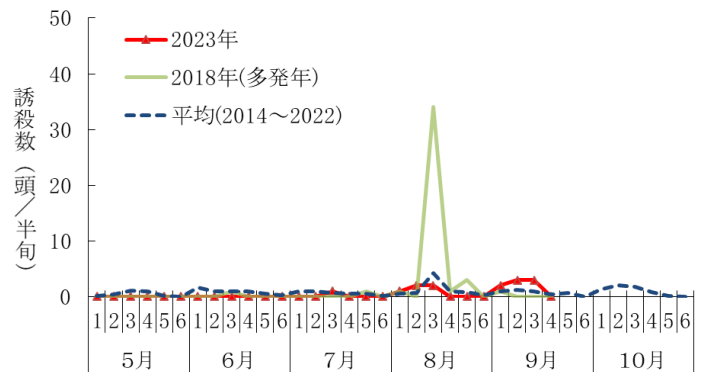


図9 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況  
(中島村:トマト)  
平均14~15年は矢吹町上宮崎、16~18年は泉崎村

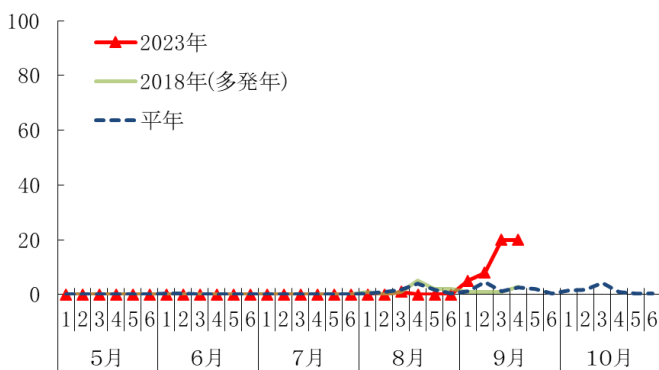


図10 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況  
(喜多方市加納:トマト)  
※平年11~13年は喜多方市熊倉

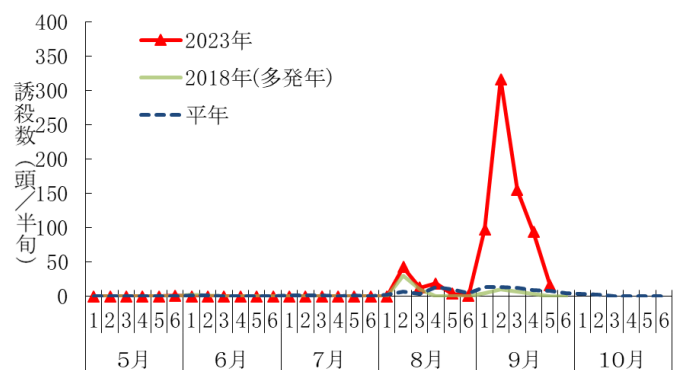


図11 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況  
(猪苗代町:トマト)

## ■ トマトかいよう病

本年もほ場での発生が確認されています。本病は種子や土壌中の残渣に生存している病原細菌が一次伝染源となり、その後、芽かきや収穫、誘引などの管理作業による二次伝染により被害拡大します。

本病の発生が確認されたほ場では次年度に持ち越さないよう、栽培終了後、発生ほ場の植物残渣はできる限りほ場外に持ち出し適切に処分してください。使用したハサミや支柱等の資材を消毒し、発生リスク低減に努めてください。

## ■ ハスモンヨトウ

浜通り地方に設置しているハスモンヨトウのフェロモントラップの誘殺数が急増しています(図12、13)。今後、さらに発生が増加するおそれがあります。また、本種は休眠性がないことから、温度が保たれる園芸施設内に侵入すると冬期間も加害されます。発生が確認された場合には防除を実施してください。

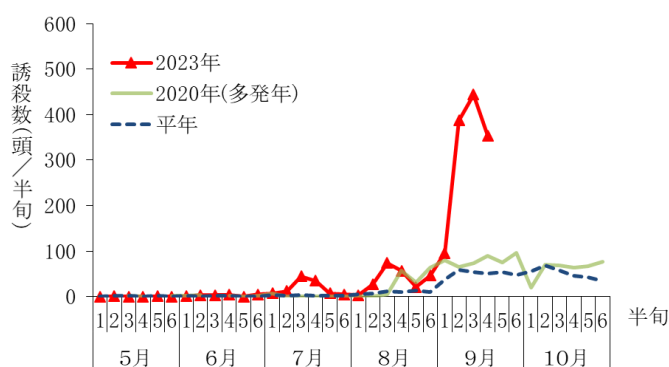


図12 フェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺状況  
(相馬市南飯淵:イチゴ)  
注) 平成12～19年は相馬市和田

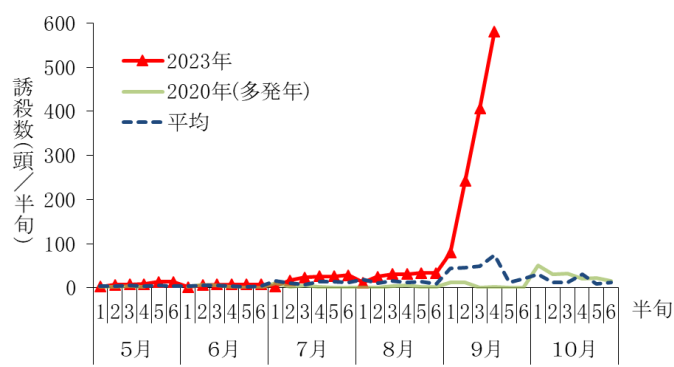


図13 フェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺状況  
(いわき市平菅波:イチゴ)  
注) 平成13～17年はいわき市下大越

## ■ トマトキバガ

本県では、8月にフェロモントラップでの誘殺を確認(病害虫発生情報 特殊報第1号参照)して以降、9月にもトラップ設置3地点で誘殺を確認しています。病害虫防除所では、誘殺が確認された地点とその周辺ほ場にてトマトキバガの発生状況調査を実施しております。

今後、県内でも被害が発生する可能性があります。施設栽培では開口部に防虫ネット等を設置し、侵入防止に努めてください。発生が疑われる場合には、各農林事務所(農業振興普及部・農業普及所)、農業総合センター安全農業推進部発生予察課(病害虫防除所)又は生産環境部作物保護科へ連絡ください。

- 情報内容への質問や要望は、福島県病害虫防除所までご連絡ください。